

平成25年度第1回さぬき市地域包括支援センター運営協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成25年8月2日（金） 14:00～15:40
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 十河章・為国真理・佐藤真千子・高嶋須美子・大隅悦子・山下博史
福光優・石原龍仁・谷幸夫・南智香・岩崎喬士・壺井邦子
真鍋芳樹・和田浩二・中村淑子・増田尚吾
[事務局] 山下和久・川田涼子・國方秀樹・藤田宏江・笹田美由紀
高橋真理恵・門脇沙絵
[傍 聴] 1名
- 4 議 題 (1) 平成24年度の運営報告及び評価について
(2) 平成25年の度事業計画について

5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただいまから、平成25年度第1回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を開会します。</p>
(会長)	<p>当協議会は、介護保険法の規定に基づいてさぬき市が設置した地域包括支援センターの運営について、委員みなさまの意見を踏まえて、公正性、中立性を確保することを目的に、年2回開催しているものです。</p> <p>まず、開会にあたりまして、会長より御挨拶をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(会長挨拶)</p>
(事務局)	<p>議事に先立って、本日出席いただいております委員を紹介します。</p> <p>(委員紹介)</p>
(事務局)	<p>さぬき市地域包括支援センター運営協議会設置要綱の規定により、過半数の委員の出席をもって会議を開くことになっておりますので、会議が成立していることを御報告いたします。</p>
(議長)	<p>また、会長が会議の議長となることになっておりますので、以降の議事進行は、会長をお願いします。</p>
(議長)	<p>次第に基づきまして議事を進めます。</p> <p>まず、「平成24年度の運営報告及び評価」について、資料の2ページから36ページまで、事務局から説明をしてもらって、質問や意見をいただき、次に「平成25年度の事業計画」について同様に事務局の説明後、質問や意見をいただく方法で進めたいと思います。</p> <p>そういう進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>それでは、そのように進めてまいります。</p> <p>まず、「平成24年度の運営報告及び評価」について、事務局の説明を求めます。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題(1)平成24年度の運営報告及び評価について)</p>
(議長)	<p>ただいまの説明について、まず、資料2ページから19ページにつきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p>
(委員)	<p>資料5ページの介護保険事業特別会計の決算額について質問します。介護保険事業計画に介護保険料の算定の基礎となる介護保険事業の事業費の見込みについて定めておりますが、見込みに対する執行状況についてお伺いします。</p>
(事務局)	<p>平成24年度から平成26年度を計画期間とする第5期介護保険事業計画では、介護保険料を月額5,070円と算出しています。</p>

	<p>介護保険事業の事業費の財源は、国が25パーセント、県が12.5パーセント、市が12.5パーセントずつ負担し、残りの50パーセントを保険者が負担することとされていますが、月額5,070円の保険料では、事業費を全額賄うことができませんので、余剰金を積み立てている基金から3年間で約1億2千万円取り崩し不足分を補うという計画となっております。</p> <p>実際、平成24年度に約1千万円を取り崩し、平成25年度と平成26年度に約5千万円ずつを取り崩す見込みですので、介護保険事業計画どおりに事業運営できていると考えております。</p>
(委員)	<p>資料16ページ以降に記載されているお達者教室（通所型介護予防事業）についてお聞きします。基本チェックリストの結果、大勢の方がお達者教室の参加対象になっていますが、対象者全員に参加の案内を出しているのですか。</p>
(事務局)	<p>さぬき市の基本チェックリストでは、「お達者教室の対象になった場合、参加を希望しますか」という質問項目を設け、その質問に「希望する」と回答した方と未回答の方に参加の案内を出しており、「希望しない」と回答した方には参加の案内は出しておりません。ですから、対象者の約半数に参加の案内を出しております。</p>
(委員)	<p>約1,000人に参加の案内を出して、参加者は1割ということですか。お達者教室に参加することは要介護状態に進まないための最後に近いチャンスだと思います。参加者の内8割の方に主観的健康感が良くなったと言って下さっています。きちんと、参加後の主観的健康感の状況を把握しているのであれば、例えば、「参加すればこんな風に元気になったという声が強くなりますよ」とアピールするなど参加者を増やすためにももう少し何かの工夫をしたらどうでしょうか。</p>
(事務局)	<p>それから、基本チェックリストにお達者教室参加の希望の有無を質問項目として設けているということですが、その項目を設けずに教室の参加対象者全員に参加の案内を出すことはできないのでしょうか。高齢者の中には、人から何かを言われてするのはいやだからといって、教室への参加を「希望しない」と回答する方もいると思います。ですから、わざわざ最初から除外するのはどうかと思います。</p> <p>教室参加を「希望しない」と回答した方には、経費の問題もあり案内は出しておりませんが、参加を「希望しない」と回答した方でも、地域包括支援センターへの「今の生活の状態をなるべく維持したい」などの相談を経緯として参加される方もいます。</p> <p>参加者を増やす工夫として、今年度の基本チェックリストを送る際、お</p>

	<p>達者教室参加までの流れを説明として新たに追加しましたし、今度、魅力あるちらしづくりの研修に参加を予定しているので、今後の教室への参加案内に生かしたいと思っています。</p> <p>また、教室に参加した方から「教室に参加して良かった」という話を聞いて、教室参加の問い合わせをしてくる方もいます。</p> <p>教室参加者を増やしていこうとは思っていますが、急に増えると対応できませんので、案内方法の工夫やロコミによって徐々に増やしていきたいと思っています。</p>
(委員)	<p>資料6ページの介護予防支援事業所の業務についてお聞きします。地域包括支援センターが作成するケアプランにおいて、正当な理由なく特定の事業者が提供するサービスに偏らないようするなど、公正・中立性の確保を図っているということで、公正・中立性が確保できているかどうかの判断基準は、各事業所がサービスを提供する人数及び単位数の割合が全体の50パーセント以下としているということですが、この50パーセントという数字は非現実的じゃないでしょうか。9ページからの集計表では、人数の割合が13.18パーセント、単位数の割合が11.6パーセントの事業所がありますが、この数字は突出しているんじゃないでしょうか。</p>
(事務局)	<p>たしかにその事業所の占める割合は他の事業所と比較してかなり高いといえるのではないかなと思います。偏りがないう他の事業所のサービスを利用することも必要かなと思います。ただ、規模が大きい事業所はどうしても利用の割合が高くなってしまうということも御理解いただきたいと思います。今後、公正・中立性が確保できるよう心がけていきたいと考えております。</p>
(委員)	<p>どういう基準であると公正・中立性を確保できるのか。規模だとか職員の数だとか事業所には色々な資質があります。事業所全てを一括りにして判断するのではなく、グループを少し分けた形で整理して判断するようにしないと、像と蟻とを同じ目方にかけてあだこうだと言っているようなごまかしを感じますので、判断基準の考慮をお願いします。</p>
(議長)	<p>50パーセント以下という判断基準は、さぬき市地域包括支援センター独自の基準でしょうか。また、地域包括支援センター設置の際から50パーセント以下をとるのを基準にしているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>地域包括支援センターが設置された際、国の指針があるのですが、その指針の中に50パーセント以下というのがありますので、それに基づいて決めました。</p>
(議長)	<p>今後、公正・中立性を確保するために、国の指針の50パーセント以下の準用でいいのか、また、県内他の市町がどのような判断基準を設けてい</p>

	<p>るのか調査していただければというふうに思います。</p>
(委 員)	<p>国の指針の50パーセント以下という数字だけを運用するのは理解が間違っているのじゃないかと思います。</p>
(事務局)	<p>判断基準をどう整理していくか、もう少し研究したいと思います。 (他に質問等なし)</p>
(議 長)	<p>つづきまして、資料20ページから31ページにつきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p>
(委 員)	<p>権利擁護に関する事例の説明についてですが、物盗られ妄想に関する事例を高齢者虐待に関する事例として捉えるのは適切ではないのじゃないですか。</p>
(事務局)	<p>この事例は高齢者虐待に関する相談ではなく、成年後見制度に関する相談として対応したものです。 (他に質問等なし)</p>
(議 長)	<p>つづきまして、資料32ページから36ページにつきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p>
(委 員)	<p>資料32ページからの地域包括支援センター運営チェックリストによる評価について提案します。平成23年度と平成24年度とを比較して評価していますが、今後は、過去3ヵ年度を比較して評価すればどうでしょうか。そうすれば、地域包括支援センターの職員がどのように努力したのか、頑張ったのか委員の方にもよく分かると思いますし、質問もしやすいと思います。</p>
(事務局)	<p>検討させていただきます。</p>
(議 長)	<p>過去からの動きというものがありますので、是非、実現していただきたいと思います。</p>
(委 員)	<p>1週間前に東京での研修会に出席しましたが、その中で地域包括ケアシステムについての講義がありました。 地域で多職種協働のための取組みをする計画になっていて、私はリーダー研修でやってきましたが、さぬき市では取り組めてないように感じます。団塊の世代が増えたときに全部施設入所という形で対応するわけにはいきませんから、在宅でしっかりやりなさいというのが基本の計画です。5年後に高齢化が急激に進むから、多職種協働のための取組みを今からやらないとだめですよ、予算もついて動いているよということなので、さぬき市での多職種協働のための取組みはどうなっているのかをお聞きます。</p>
(事務局)	<p>在宅の方を支援するという意味において、さぬき市のエリアにおいて例えば、夜間に支援をいただくような24時間体制の訪問介護でありますとか訪問看護でありますとか色々な地域の資源が都会と比べ不足しております</p>

	<p>す。そういう状況の中でどうしていくかというところでまだまだ解決の糸口が見えていないというのが現状でございます。先程委員がおっしゃられたことは今後のテーマというふうに考えております。</p>
(委 員)	<p>我々のできることではないので、その自覚をもっていただきたいと思います。</p>
(委 員)	<p>資料3 2ページからの地域包括支援センター運営チェックリストによる評価についてですが、先程の説明では平成23年度と平成24年度ではほぼ変わらない評価ということだったのですが、平成23年度と平成24年度でこの項目は力を入れていたのだけでも、評価としては同じだったという項目があれば、次年度にその項目を強化していけばいいと思いますので、教えていただきたいと思います。</p>
(事務局)	<p>特にこの項目を重点にということではなく、それぞれの項目でそれぞれ運営してきたというのが現状です。</p>
(委 員)	<p>地域包括支援センター運営チェックリストによる評価のうち資料3 3ページの一次予防事業についてですが、先程別の委員さんから地域包括ケアシステムに関する質問がありましたが、やはり地域住民が意識改革をしなければなりません。私たち数名の者が一生懸命になってもだめなので、地域住民の意識向上ということに視点を置いて頑張っていただきたいと思います。</p>
(議 長)	<p>一次予防事業は重要だと思いますのでよろしくお願いします。 (他に質問等なし)</p>
(議 長)	<p>それでは、資料3 7ページからの、「平成25年度の事業計画」について事務局の説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題(2)平成25年度の事業計画について)</p>
(議 長)	<p>平成25年度の事業計画について、質問、御意見がありましたらお願いいたします。 (質問等なし)</p>
(議 長)	<p>それでは議題の進行を終了させていただきます。ありがとうございました。では、事務局の方へお返しいたします。</p>
(事務局)	<p>次回の会議は来年2月頃を予定していますのでよろしくお願いします。 本日は長時間に渡りましてありがとうございました。以上で終了いたします。</p>